

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	茂原市運送事業者等支援事業			基本計画	節	3	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	2		施策の方向	
課係名	商工観光課振興係	内線			施策	3		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	3		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	市内の貨物運送事業者や貸切バス事業者等は、新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の影響を受け、利益率が下がるなど事業の継続に大きな支障をきたしている。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の影響を受けている運送事業等を営む中小事業者に対して、事業の継続を支援するため支援金を交付する。
実現するための課題(問題点)	対象事業者が、もれなく支援金の申請ができるよう周知を図る必要がある。
具体的な取組(解決策)	広報もばら、市のウェブサイト及びSNSのほか、茂原商工会議所と連携し、商工もばら、商工会議所のウェブサイト等で周知を図るとともに、関係団体に周知を依頼する。

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			R4年度	年度	年度
■活動指標	①	関係団体へ制度の周知	関係者の申請漏れの予防			
	②					
■成果指標		申請件数	バス8社、トラック26社、福祉タクシー14社、運転代行9社	60社		

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
補正予算 燃料費高騰による事業者の負担軽減を図るため、早急の実施する必要がある理由がある。				

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年:無期	後年度負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年:有期[始期 ~ 終期]	内容	

事業費の積算	4年度	貸切バス事業者:車両1台当たり100千円×80台=8,000千円 貨物トラック運送事業者:車両1台当たり100千円×400台=40,000千円 福祉タクシー事業者:車両1台当たり30千円×25台=750千円 自動車運転代行業:車両1台当たり30千円×45台=1,350千円 支援金見込額 50,100千円	事業費	50,100	人工数		事務スケジュール	年月	内容
		国債	50,100	0.30		4.9		補正予算成立(市長専決)	
		市債			人件費	4.9		SNS等で周知開始	
		その他			2,269	4.9		申請受付開始予定	
		一般財源	0			4.10		交付開始予定	
	年度		事業費		人工数			5.3	完了
			国債						
			市債		人件費				
			その他						
	年度		事業費		人工数				
			国債						
			市債		人件費				
			その他						
		一般財源	0						

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の大きな影響を受けている運送事業者等に対し、経済的な支援が必要である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の大きな影響を受けている運送事業者等の事業継続を支援することができる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	当面の事業継続支援にはなるが、原油の高騰や物価上昇については今後の見通しが不透明である。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度まであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を充てることで対応する。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	対象事業者の精査を十分に実施する。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	対象事業者の精査を十分に実施する。
	■庁議による方針		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。